

氏名	中 村 陽 一
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 号
学位授与の日付	平成16年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Anti-inflammatory effects of long-lasting locally-delivered human recombinant tissue factor pathway inhibitor after balloon angioplasty (バルーン血管障害時ヒト組み換え型TFPI局所投与の抗炎症効果に関する検討)
論文審査委員	教授 佐野 俊二 教授 梶谷 文彦 教授 吉野 正

学位論文内容の要旨

Tissue Factor Pathway Inhibitor (TFPI)は組織因子—VIIa および Xa 因子の活性を阻害する抗凝固因子であるが、培養平滑筋細胞の増殖遊走を抑制する。我々はバルーン障害後ヒト組み換え型 TFPI(rTFPI)を局所投与した場合の残存期間と生体内での新生内膜形成を抑制機序に関して検討した。85羽の日本白色家兔の腸骨動脈に cutting balloon で血管障害を加えた。その後 200 μ g の rTFPI を局所投与し、投与効率を検討した。術後 4 日まで 2.6 \pm 1.6 ng が血管壁に残存していた。免疫組織学的検索では術後 7 日目にも内弾性板切断部位の 48%に残存した。術後 7 日目のマクロファージの浸潤は投与群で有意に抑制され、術後 2 週では Ki-67 陽性細胞が有意に抑制されていた。rTFPI の局所投与は抗炎症作用、抗平滑筋細胞増殖抑制作用により新生内膜増殖を抑制することが示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は抗凝固因子である Tissue Factor Pathway Inhibitor (TFPI)のヒト組み換え型 TFPI (rTFPI) を局所投与した場合の残存期間と生体内での新生内膜形成の抑制機序に関して検討したものであるが、rTFPI の局所投与は抗炎症作用、平滑筋細胞増殖抑制作用により新生内膜増殖を抑制することを証明した価値ある業績である。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。